



## 令和3年度 第4回 理事会議事録

1. 日 時 令和3年10月20日（水） 14時00分～ 15時25分

2. 場 所 W E B会議（第2大石ビル7階 7階会議室）

3. 出席者 理事定数16名 出席14名 欠席2名

監事定数 4名 出席 4名 欠席0名

定款第35条第1項の規定に基づく定足数を満たし、本理事会は成立した。

### [出席理事]

若林 直（熱海）	西山 洋雄（三島）	森 黽（三島）
細澤 哲哉（沼津）	佐藤 正一（富士）	小野 信一（静岡）
松下 好宏（榛原）	川口 廣司（榛原）	笠原 真史（小笠）
中津川法雄（中遠）	飯尾 清三（浜松）	鈴木 純哉（浜松）
吉山 真三（浜松）	原田 勝弘（浜松）	

### [欠席理事]

水上 茂樹（清水） 立石 昌江（志太）

### [出席監事]

細澤 啓司（沼津） 望月 廣道（清水） 森下 庄治（小笠）  
岡本 博夫（会員外）

### [欠席監事]

なし

4. 司 会 小野 信一 常務理事

5. 会 議 (1) 議 長 飯尾 清三 会長

(2) 議事録署名人

定款第36条第2項により出席した会長及び監事

(3) 議事録作成者 飯尾 清三

事務局長 資料確認

飯尾会長 あいさつ

### 議題1 新入会員の承認に関する件

事務局長より、令和3年7月21日から10月19日の間に入会、又は退会した会員数について説明があり、定款の規定により理事会の承認を求めるとの発言があった。入会者は正会員6名、賛助会員1社、退会者は正会員1名、賛助会員0社であり、10月19日時点での会員数は、正会員が1,057名、賛助会員が150社で計1,207名社となったことが説明された。

議長より資料の内容で新入会員の承認を求めたところ、全員賛成の挙手で原案は承認された。

### 議題2 令和4年度当初予算編成に関する件

事務局長より、令和4年度当初予算編成に当たり、10月13日総務会において予算委員会を設置し、委員長を飯尾会長、委員は総務会の役員、事務局長で構成された。例年と違う点は、静岡県より地震対策事業が令和7年度で終了する事で「わが家の専門家診断事業」は令和6年度が最終年度となる。次年度において直接影響はないと思われるが、今後収入が減少することを考慮し、予算の編成方針に組入れた。次年度もコロナ感染防止を考慮し事業計画をお願いしたい。10月14日付で本会委員会委員長・機構代表、ブロック長に、「令和4年度当初予算の編成について」通知を出し、11月15日を期限に予算要求調書の提出を求める予定である。今後のスケジュールは、第2回委員会では予算取り纏めの報告、第3回開催の予算委員会までに各事業の担当副会長がヒアリングを行い、その結果により1次査定案を作成する予定である。その後は例年通りのスケジュールで進めていく予定である。ブロック予算については、3年度予算は最終的には250万円となつたが、昨年と同様に280万円で計画をお願いしたいとの説明があった。

飯尾会長より、理事の方々も2年目になる事もあり、前年と同様担当委員、委員長と確認を取り、予算の取り纏めをお願いしたい。来週以降に、建築士会としての「コロナ感染防止対策についての指針」を出す予定なので、それに基づいて事業計画をお願いしたい。令和6年度にわが家の専門家診断事業が終了するにあたり、その時にはわが家の専門家診断事業収入が無くてもその他の事業を進めていくため準備を、組織検討委員会を通じ行っている。ブロック予算も、先ずは280万円で提出頂き、その方向で検討はしたいが状況によっては変更もありうるのでお願いしたいとの補足説明があった。

議長より承認を求めたところ、全員賛成の挙手で原案は承認された。

### 議題3 「災害支援活動資金」の支出（熱海市伊豆山地区土石流災害関係）に関する件

事務局長より、災害対策士業連絡会合同相談会の出席者13名（相談時間238時間）に対し、「災害支援活動資金」5300万円を取崩し、相談料を支払いたいと考えている。取扱いについては本日の理事会承認後に行う予定である。支払単価は令和元年10月の台風19号の災害時の相談料を参考にして、総務会で協議をし時間単価を1500円と決定した。この相談料は7月26日から9月11日までのもので、現在も週末に相談会は続いている為、

今後も「災害支援活動資金」より支出したいと考えていることの説明があった。

飯尾会長より、この災害対策士業連絡合同相談会は団体より交通費、昼食代等の支給が行われない事になっている為、「災害支援活動資金」より相談料を充てることを考えている。相談会は今後1年間続いていくので協力はしていくが、どこまで「災害支援活動資金」から支出するのか協議しなければいけない。相談内容も今後変わっていくだろうと思われる。

笠原理事より、9月10日に相談会に参加をしているが資料には入っていないという質問があり、若林常務理事より、資料に漏れがあったので訂正しますとの回答があった。

西山副会長より、今後の相談会は士業連絡会に登録している方が、月2回相談会に参加する事になり、資料の表の延べ時間数字も違っている為、訂正をお願いしたいと説明があった。

議長より以上の補足を加え、数字の訂正を踏まえて承認を求めたところ、全員賛成の挙手で承認された。

#### 議題4 令和4・5年度会長候補選考委員会委員の承認に関する件

事務局長より、会長候補選考委員会を設置するにあたり、9月6日の書面理事会において書面表決を受け委員会の設置をしたこと、各ブロックより会長候補選考委員会委員の資格要件を満たした計9名の推薦があったことが説明された。承認後、10月下旬に委員会を開催予定であることが説明された。

議長より承認を求めたところ、全員賛成の挙手で原案は承認された。

#### 議題5 全国大会実行委員会の設置に関する件

事務局長より、「第65回建築士会全国大会「しづおか大会」実行委員会設置規程」(案)の承認について説明された。令和元年度より全国大会準備委員会で活動をしてきたが、コロナ禍の中、1年順延になっている。今年度も広島大会現地開催が東京開催となった。来年の秋田大会は10月開催の予定である。しづおか大会は令和5年10月に開催予定である。本年8月から委託業者の選定の為のヒアリングが行われ、10月下旬には、準備委員会から実行委員会へ移行し今後、準備を行っていく予定である。実行委員会組織(案)は、会長を委員長とし、副会長、常務理事、各ブロックより推薦された委員で構成されたものであり、その中の部会長を中心に行き交際委員会を行う予定である。理事会承認後の実行委員会では、委託業者の決定を行う予定であることが説明された。

飯尾会長より、全国大会実行委員会について組織(案)の説明があり、第1回実行委員会では、委託業者(旅行会社)を、JTBと日本旅行の2社から1社決定する。その後、部会長、部会担当者が、旅行会社と打合せを行っていく予定になることが補足された。

佐藤理事より、規程（案）、組織（案）についての誤字等の指摘があり、訂正を行う。その他、規程（案）と組織（案）の整合性がとられていないこと（第3条の1、第4条の1などについて）について指摘があった。

西山副会長からも、規程（案）を変更すると、組織（案）との整合性が取れない為、検討が必要との意見があった。

飯尾会長より、規程（案）、組織（案）について、第1回実行委員会、総務会で再度見直し、それを次の理事会で協議、承認することとしたいという説明があった。ただし、実行委員会の活動は、組織（案）にあるメンバーで、進めて頂きたいという事で承認を得たいと説明がされた。

議長より、以上の説明を踏まえ承認を求めたところ、全員賛成の挙手で承認された。

#### 報告事項1 年会費の収納状況

事務局長より、10月20日現在 正会員27名、賛助会員1社の年会費未納が報告された。総務会時に各ブロック長に未納者リストを渡し、会費納入の督促をお願いしていると報告があった。

#### 報告事項2 全国大会（東京開催）の状況

事務局長より、コロナ感染拡大を受け11月19日～20日に行われる全国大会「広島大会」の開催が東京（WEB）開催となった。基本的にはWEBでの参加になるが、コロナ禍においての会場人数制限等を遵守し、全国大会を控えている当社会の総務会メンバー8名は東京の式典等に参加することとなった。WEBでの配信は無料であり、当日見逃しても後日、配信があるという事なのでWEBでの参加をお願いしたい。

飯尾会長より、全国大会広島大会は今回をもって終了となり、数年後に広島大会が開催されるわけではない。式典に関しては今後のこともある為、是非とも観て頂きたいと補足された。

#### 報告事項3 令和3年度中間監査の日程

事務局長より、11月4日（木）に、第2大石ビル8階会議室において、中間監査が行われることが報告された。

#### 報告事項4 建築士試験の実施状況について

松下副会長より、本年度学科試験の合格者は、一級に関して、全国、静岡県共に減少している。特に静岡県の合格率は近年になく低調であった。二級に関して、全国、静岡県共に増加している。これは一級の学科問題の難易度の高さ、二級の学科問題の難易度の低さが影響していると思われる。木造については、合格者はゼロという結果になった。

製図試験に関しては、一級、二級とも受験予定者、受験者共に減少しているが、受験率だと、若干上がっている状況である事が報告された。

#### 報告事項5 役員職務執行状況報告及び本会各委員会・機構期間活動報告について

事務局長より、5月19日から10月20までの会長、副会長及び常務理事の職務執行状況、4月から10月までの各委員会、機構の活動状況が報告された。

#### 報告事項6 会員アンケートの集計結果について

鈴木副会長より、6月に会員にアンケートをとり集計がまとめた。会員の半数程度の回答があり予想以上の反応であり、この資料は抜粋であり12月会報誌に同封する予定。会員からの厳しい意見もあったが、全て掲載の予定である。今後アンケートの結果を踏まえて、委員会で検討をしていきたいと考え、総務会、理事会に提案をしていきたいと考えている。今年度はこのような活動になるが、それを踏まえて次年度に何か事業を行う予定であることが報告された。

#### 報告事項7 公益信託 大成建設自然・歴史環境基金助成金について

鈴木副会長より、前回の理事会でも助成金について報告をしたが、この申請が通り60万円の助成を受けることになった。この事業については今年度ではなく来年度に行う事業になる。今まで活動をしてきたが、テーマになっている「平常時・非常時における歴史的建造物の保全・活用に関する広域連携と体制整備」、マニュアル作りと、東海北陸プロジェクトで連携をしている図上訓練を行う事が目的になっているとの報告があった。

#### その他 報告事項

事務局長より、西部プロジェクト事務局の平岡職員が9月30日で退職した為、求人募集をし11月11日より小池職員を採用したことが報告された。10月より西部プロジェクト事務局が不在となり会員の皆さんに迷惑をお掛けしているが、ご協力をお願いしたいと報告があった。

鈴木副会長より、今週末10月23日に建築甲子園静岡予選大会が行われ、今年度は4校が参加となっている。各学校のレベルも年々上がってきているように感じる中での予選大会の為、結果は改めて報告をしますとの説明があった。

笠原理事より、メールを利用していない年配の会員に対して、講習会の情報等をFAXで知らせてもらえないかと要望があった。

飯尾会長より、メールでお知らせ出来ない会員に対しては、各プロジェクト事務局で通知することになっていたが、現在はどのような状況なのか。東部プロジェクトはFAXで対応、中部プロジェクトは、FAX、郵送で対応していたが、郵送は廃止した。メールでのお願いをしている。西部プロジェクトは、メールが配信のみでFAX送信はしていない。

笠原理事からは、小笠地区の会員から講習会の情報が自分のところに来ないと聞くた

め、対応している。現在ブロックに対応してもらうのは無理なのは承知しているが本会事務局で対応はできないのかとの質問があり、飯尾会長より、各ブロックで対応をお願いしているし、本会ではその情報を把握していない為、対応ができないと思われる。FAXでの一斉送信も時間がかかるてしまう為、しょうがない部分もある。会員への対応については、本会事務局でもフォローできるように検討するとの回答があった。

細澤監事より、協議事項にあった全国大会実行委員会について、来年は役員の改選期である為、規程（案）では、今の役員が残らないのではないか。来年の総会後に実行委員会を立ち上げることも1つの案ではないか。今後半年は委員会で活動する中、役員改選後も、委員として残ってもらった方がいいと思われる所以、検討をお願いしたい。もう1点、このような組織には、お金の移動がある為、監査役を設けた方がいいと思われるとの提案があった。

飯尾会長より、全国大会の人選については以前からお願いをしていたが、規程（案）との整合性もついていないことから、改めて検討したいとの回答があった。

次回理事会予定 令和4年1月19日（水）14時～ 会場は未定  
(正式な会場は、事務局より改めて連絡することとする)

以上をもって議案の審議等を終了したので、15時25分議長は閉会を宣し解散した。

上記のとおり令和2年度第4回理事会の議事に相違ないことを証するため、ここに  
会長及び監事が記名、押印する。

令和3年10月20日  
公益社団法人 静岡県建築士会

会長  
飯尾 清三



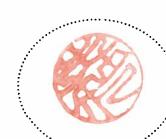
監事  
細澤 啓司



監事  
望月 廣道



監事  
森下 庄治



監事  
岡本 博夫



